

60分でわかる旧約聖書(12) 「列王記第二」

1. はじめに

(1) 書名

- ①サムエル記、列王記、歴代誌は、それぞれ本来は一書である。
- ②七十人訳が便宜的に第一と第二に分けた。
- ③それ以降、その習慣が定着した(ヘブル語聖書も同様)。

(2) 内容

- ①列王記は、サムエル記の続編である。
- ②列王記が2分されたのは、内容上の理由ではなく、物理的理由である。
- ③単なる歴史ではなく、歴史からの教訓(歴史観)を教えようとしている。

2. アウトライン

- I. ダビデの晩年(1列1~2章)
- II. ソロモンの統治(1列3~11章)
- III. 分裂王国(1列12~2列16章)
 - 1. 列王記の大前提
 - 2. ソロモンの失敗
 - 3. 統一王国の分裂
- IV. 北王国の崩壊(2列17章)
 - 1. 金の子牛
 - 2. 下剋上の時代
 - 3. 北王国崩壊の原因
- V. 南王国の崩壊(2列18~25章)
 - 1. ダビデ王朝の継続
 - 2. 捕囚前のイザヤの活躍
 - 3. 捕囚期のエレミヤの活躍
 - 4. まとめ

3. 結論

- (1) 地上の王国と天の王国
- (2) 人の計画と神の計画

列王記第二を通して、歴史の中に見られる霊的原則について考える。

Ⅲ. 分裂王国(1列12~2列16章)

1. 列王記の大前提

(1) 創12:1~3

Gen 12:1 【主】はアブラムに仰せられた。／「あなたは、／あなたの生まれ故郷、あなたの父の家を出て、／わたしが示す地へ行きなさい。

Gen 12:2 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、／あなたを祝福し、／あなたの名を大いなるものとしよう。／あなたの名は祝福となる。

Gen 12:3 あなたを祝福する者をわたしは祝福し、／あなたをのろう者をわたしはのろう。／地上のすべての民族は、／あなたによって祝福される。」

- ①土地の約束
- ②子孫の約束
- ③祝福の約束

(2) 出19:4~6

Exo 19:4 あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に載せ、わたしのもとに連れて来たことを見た。

Exo 19:5 今、もしあなたがたが、まことにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはすべての国々の民の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。

Exo 19:6 あなたがたはわたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。／これが、イスラエル人にあなたの語るべきことばである。」

- ①イスラエルの民は、神の支配の下で生きるなら祝福を受ける。
- ②イスラエルの民は、祭司の王国、聖なる国民である。

(3) イザ42:6

Isa 42:6 「わたし、【主】は、／義をもってあなたを召し、／あなたの手を握り、／あなたを見守り、／あなたを民の契約とし、国々の光とする。

- ①イスラエルの民は、「国々の光」である。
- ②異邦人諸国を神に導く光となる。

(4) イスラエルの民は、この使命を果たすことができたのか。

- ①列王記は、失敗の歴史である。
- ②その原因は、モーセの律法に対する不従順である。

2. ソロモンの失敗

- (1) 政略結婚により、偶像礼拝が蔓延した。

①1列11:3~4

1Ki 11:3 彼には妻たち、すなわち七百人の王妃と三百人の側室がいた。この妻たちが彼の心を迷わせた。

1Ki 11:4 ソロモンが老境に入ったとき、彼女たちは王の心を迷わせ、他の神々に向かわせた。こうして彼の心は、父ダビデの心とは異なり、自分の神、主と一つではなかった。

②モーセの律法からの逸脱である。

(2) ソロモンの罪に対する裁き

①ソロモンの死後、裁きが下った。

②ダビデ契約のゆえに、ソロモンの王国は守られた。

3. 統一王国の分裂

(1) ユダ族とエフライム族の対立

①レハブアムとヤロブアムの対立

(2) 南北に分裂

①北王国=イスラエル

②南王国=ユダ

③北の10部族は、ヤロブアムが王となって統治した。

④南の2部族は、ダビデ、ソロモンの子孫たちが王となって治める。

*ダビデの家が退けられることはない。

IV. 北王国の崩壊(2列17章)

1. 金の子牛

(1) ヤロブアムは、ダンとベテルに神殿を築き、金の子牛を安置した。

①「ネバテの子ヤロブアムの道」と呼ばれた。

②これは、ヤハウエ礼拝の変形である。

③北の10部族をエルサレムに上らせないための苦肉の策である。

2. 下剋上の時代

(1) 約210年の間に、19人の王が出現した。

①9王朝が興亡を繰り返した。

②最後は、アッシリヤ捕囚となる(前721)。

(2) 預言者エリヤとエリシャの活躍

- ①バアル礼拝との戦い
- ②出エジプトの時代に続いて、奇蹟が起こる時代となった。
- ③預言者の語ったメッセージは、申命記の原則への回帰である。
- ④エリヤの時代に、「イスラエルの残れる者」という概念が誕生した。
- ⑤1列19:18

1Ki 19:18 しかし、わたしはイスラエルの中に七千人を残しておく。これらの者はみな、バアルにひざをかがめず、バアルに口づけしなかった者である。」

- ⑤これは、ロマ11章でパウロが取り上げる概念である。

3. 北王国崩壊の原因

(1) 2列17:22~23

2Ki 17:22 イスラエルの人々は、ヤロブアムの犯したすべての罪に歩み、それをやめなかったので、

2Ki 17:23 ついに、【主】は、そのしもべであるすべての預言者を通して告げられたとおり、イスラエルを御前から取り除かれた。こうして、イスラエルは自分の土地からアッシリヤへ引いて行かれた。今日もそのままである。

- ①アッシリヤ捕囚の原因は、モーセの律法に対する不従順である。

V. 南王国の崩壊(2列18~25章)

1. ダビデ王朝の継続

(1) 南王国には20人の王が出現した。

- ①アタルヤという女帝以外は、すべてダビデの血統であった。
- ②彼女は、ダビデ家を抹殺しようとして王位継承権のある者たちを暗殺する。
- ③幼子ヨアシュだけが助かった。

(2) 単一王朝(ダビデ王朝)がバビロン捕囚(前586年)まで継続する。

- ①南王国の王の内、8人が名君(善王)であった。

2. 捕囚前のイザヤの活躍

(1) シャカイナグローリーを目撃した。

(2) アッシリヤとの戦争に備えるアハズ王を激励した。

- ①イザ7:14

Isa 7:14 それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。

- ②「アルマー」(未婚の乙女)
- ③「ベツラー」(処女)

(3) メシア受難の預言を語った。

- ①イザヤ53章

3. 捕囚期のエレミヤの活躍

(1) エレミヤの手紙

- ①エレ29:4~10

②捕囚民への4つの原則

- *家を建てて住み着く。
- *畑を作ってその実を食べる。
- *結婚し子を残す。
- *その町の繁栄を求める。

③これは、ユダヤ人の世界離散への備えとなった。

(2) エレ31:31~34

Jer 31:31 見よ。その日が来る。——【主】の御告げ——その日、わたしは、イスラエルの家とユダの家とに、新しい契約を結ぶ。

Jer 31:32 その契約は、わたしが彼らの先祖の手を握って、エジプトの国から連れ出した日に、彼らと結んだ契約のようではない。わたしは彼らの主であったのに、彼らはわたしの契約を破ってしまった。——【主】の御告げ——

Jer 31:33 彼らの時代の後に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこうだ。——【主】の御告げ——わたしはわたしの律法を彼らの中に置き、彼らの心にこれを書きしるす。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。

Jer 31:34 そのようにして、人々はもはや、『【主】を知れ』と言って、おのおの互いに教えない。それは、彼らがみな、身分の低い者から高い者まで、わたしを知るからだ。——【主】の御告げ——わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。」

- ①「契約の民」との契約
- ②聖霊により心に記される契約
- ③新しい契約をもたらすのがメシアである。

4. まとめ

(1) 出エジプト(解放)から始まった歴史は、バビロン捕囚(束縛)で終わった。

- ①列王記はダビデ王で始まり、バビロンの王で終わった。

(2) メシア登場の舞台が完成した。

①メシアは、アブラハム契約を成就するお方として登場する。

結論：

1. 地上の王国と天の王国

(1) 各王が、モーセの律法の基準、ダビデ王の基準に従って評価される。

①列王記は、単なる事実の羅列ではなく、霊的教訓を教えるための書である。

②祝福を受けるためには、天の王国の基準で統治する必要がある。

(2) この原則は、クリスチャン生活にも適用される。

①ヨハ 15：11

Joh 15:11 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにある、あなたがたの喜びが満たされるためです。

②イエスの命令に従うことが、喜びに満たされる方法である。

③世の人たちは、神を排除することによって喜びが得られると思っている。

2. 人の計画と神の計画

(1) イスラエルの民の失敗は、メシアの誕生をもたらす。

(2) モーセの律法が機能しなかったため、新しい契約が結ばれる。

(3) イスラエルがメシアを拒否したため、異邦人に救いがもたらされた。

(4) やがてイスラエルはみな救われる。